

◆ 編集後記 ◆

会議について思う事。お役所に会議はつきものであるが、朝から夕方までの会議はザラである。小生などはせいぜい1時間が限度であり、それ以上になると頭の中はカラッポ、ひたすら眠らないよう努力するだけで、思考能力はほとんどない状態である。

ある雑誌に、企業の社長さんの一文が載っていた。彼いわく、1時間半以上の会議はするな、机の上に物をおくな。人間が集中出来る時間はせいぜい1～2時間、それ以上しても、議論は空転するだけ。会議は短かく、効率的に！

某県知事のお話し。机の上に物をおくな、コピーをやたらとするな、1年以上たった資料はすてろ。何か新しい事をする場合に、昔の事に頼って（前は…であった）は新しい発想は生まれえないという事を言っているのである。研究についても言えるのではないか。感銘した話であった。

（谷，石渡）

編集幹事会

幹事長	竹内政夫		
幹事	石渡輝夫	上西隆広	野竹俊雄
	大越威	谷茂	山口登美男
	小長井宣生	中野修	吉井厚志

開発土木研究所月報
No.466 1992年3月
平成4年3月20日 発行

発行所 北海道開発局開発土木研究所
062 札幌市豊平区平岸1条3丁目
TEL 841-1111(代表)
FAX 824-1226

印刷所 札幌軽印刷協同組合
003 札幌市白石区菊水元町
1条1丁目5番27号
札幌印会館内
TEL 871-5552